

## 特別企画：四国地区 建設業売上高上位 20 社 業績動向調査（2019 年度）

# 2019 年度の業績、売上高・利益額合計ともに過去 5 年間で最高

## はじめに

災害対策工事など公共投資や、民間工事でも製造業・非製造業ともに設備投資は堅調に推移してきた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大による景況感の悪化から、民間企業の増収傾向に歯止めがかかることは必至とみられている。また、2020 年度に設備投資を行う予定が『ある』と考えている四国の企業は 54.9%と、前年度を 13.0 ポイントの大幅減となる（帝国データバンク高松支店「四国地区 2020 年度の設備投資に関する企業の意識調査」）など、先行きの不安や資金繰りの厳しさが増すことで設備投資を控えている企業がみられるなか、四国地区の主な建設業者の業績はどのように推移しているのだろうか。

帝国データバンク高松支店は、2020 年 8 月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」（147 万社収録）の中から、2015 年度（2015 年 4 月期～2016 年 3 月期）から 2019 年度（2019 年 4 月期～2020 年 3 月期）まで 5 年間の決算の売上高と利益額が比較可能な、四国地区に本社が所在する建設業売上高上位 20 社を抽出し、売上高別、利益額（当期純利益）別、売上高ランキングについて分析した。

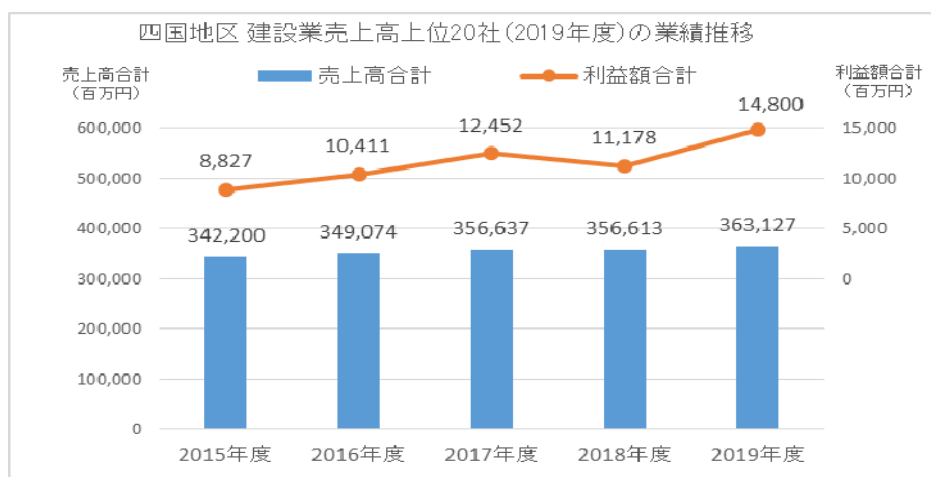
## 調査結果（要旨）

### 1. 2019 年度の売上高合計は 3,631 億 2,700 万円

前年度と比べて 65 億 1,400 万円（1.8%）多く、過去 5 年で最高に

### 2. 2019 年度の利益額合計は 148 億円

前年度と比べて 36 億 2,200 万円（32.4%）多く、過去 5 年で最高に



## 1.売上高合計推移、過去 5 年で最高

四国地区に本社が所在する建設業売上高上位 20 社について、2015 年度～2019 年度決算の売上高合計をみると、2019 年度は 3,631 億 2,700 万円となり、前年度と比べて 65 億 1,400 万円(1.8%)多く、過去 5 年で最高となった。

増減収の社数別内訳は、増収が 13 社、減収が 7 社であった。

年商規模別にみると、「100 億円未満」が前年度比 1.8%増、「100 億～500 億円未満」が同 2.7%増、「500 億円以上」が同 0.8%増といずれも増加した。

(単位:百万円)

年度	売上高合計	前年度比 (%)	売上高合計(年商規模別)		
			100億円未満	100億～500億円未満	500億円以上
2015年度	342,200	-2.3	75,569	142,231	124,400
2016年度	349,074	2.0	70,060	212,066	66,948
2017年度	356,637	2.2	96,182	186,058	74,397
2018年度	356,613	0.0	80,208	153,038	123,367
2019年度	363,127	1.8	81,633	157,127	124,367

## 2.利益額合計推移、過去 5 年で最高

2015 年度～2019 年度決算の利益額合計(当期純利益)をみると、2019 年度は 148 億円となり、前年度と比べて 36 億 2,200 万円(32.4%)多かった。2 年ぶりの増加ながら、4 年連続で 100 億円以上となり、過去 5 年で最高となった。

増減益の社数別内訳は、増益が 8 社、減益が 12 社であった。

年商規模別にみると、「100 億円未満」が前年度比 0.4%減、「500 億円以上」が同 8.8%減となったものの、「100 億～500 億円未満」が同 89.2%増となり、全体を押し上げた。

(単位:百万円)

年度	利益額合計	前年度比 (%)	利益額合計(年商規模別)		
			100億円未満	100億～500億円未満	500億円以上
2015年度	8,827	22.3	1,540	3,752	3,535
2016年度	10,411	17.9	1,135	8,139	1,137
2017年度	12,452	19.6	2,728	7,712	2,012
2018年度	11,178	-10.2	2,229	4,507	4,442
2019年度	14,800	32.4	2,221	8,526	4,053

### 3.まとめ

今回の調査で、四国地区に本社が所在する建設業売上高上位 20 社の 2019 年度の売上高合計は 2 年ぶりに前年度を上回り、過去 5 年で最高となったほか、利益額合計も、4 年連続で 100 億円以上となり、過去 5 年で最高となったことがわかった。公共工事・民間工事ともに堅調推移であったことや、大型案件もあり売上高合計の増加につながった。また、外注費や人件費の上昇がみられたものの、増収効果などで利益額合計の増加につながった。

ただ、建設業界では、2020 年度に入り新型コロナウイルス感染拡大にともなう先行き不透明感から、製造業をはじめとする民間企業における設備投資計画の見直しがみられることで、増収傾向に歯止めがかかることが予想され、引き続き動向をみていく必要がある。

#### <参考>

四国地区 建設業売上高上位20社 2019年度売上高ランキング (単位:百万円)

順位	商号	所在地	年売上高 (2019年度)	前年度比 増減
1	株式会社 四電工	香川県	71,087	↓
2	株式会社 合田工務店	香川県	53,280	↑
3	四電エンジニアリング 株式会社	香川県	49,552	↑
4	四国通建 株式会社	愛媛県	23,757	↑
5	大旺新洋 株式会社	高知県	20,068	↓
6	株式会社 一宮工務店	愛媛県	16,304	↓
7	小竹興業 株式会社	香川県	12,693	↑
8	フジケンエンジニアリング 株式会社	愛媛県	12,520	↑
9	ミサワホーム四国 株式会社	香川県	11,480	↑
10	株式会社 姫野組	徳島県	10,753	↑
11	井原工業 株式会社	愛媛県	9,226	↑
12	株式会社 ドコモCS四国	香川県	9,192	↓
13	株式会社 岸之上工務店	高知県	8,629	↓
14	株式会社 菅組	香川県	8,468	↓
15	和建設 株式会社	高知県	8,314	↑
16	マルマストリグ 株式会社	愛媛県	8,167	↑
17	株式会社 カナック	香川県	7,828	↑
18	積和建設四国 株式会社	香川県	7,447	↑
19	株式会社 三好鉄工所	愛媛県	7,365	↑
20	株式会社 轟組	高知県	6,997	↓

**【 内容に関する問い合わせ先 】**

株式会社帝国データバンク 高松支店 担当：須賀原 欣彦、青木 真人

TEL：087-851-1571 FAX：087-851-3837

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。